事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	交通バリアフリー関連事務	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4110
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別	大項目 200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤） 中項目 200002 交通アクセスの便利なまちづくり 小項目 200002 公共交通の維持確保と交通安全の推進	根拠法令個別計画等	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」 「深谷市交通バリアフリー基本構想」				

事業概要	平成１２年１１月に施行された「交通バリアフリー法」に基づき、平成１５年３月「深谷市交通バリアフリー基本構想」を策定し、深谷駅周辺において、バリアフリー化を一体的かつ重点的に推進するものである。 また、平成１８年にはバリアフリー新法が施行され、更には平成３０年に改正バリアフリー法が公布された。今後の国からの情報を注視し、対応について検討するものである。
目的 ※何のために	高齢者および障害者等が利用する公共交通機関や道路の利用環境改善。
対象 ※誰・何を対象に	①誰：鉄道事業者やバス会社などの公共交通事業者、何：鉄道やバスの車両や施設 ②誰：県や市などの道路管理者、何：道路　→これらの駅周辺に関するものを対象とする。
手段 ※どのように	運行事業者や道路管理者等に対しバリアフリー化を働きかける。
成果 ※何を求めるか	深谷駅周辺のバリアフリー化。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　■ ＮＰＯ民間団体　■ その他（障がい者団体など）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ バリアフリー法に基づく総合調整	・
・ 公共交通事業者等との調整	・
・	・
・	・
・	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画		特定経路等の整備状況の管理	特定経路等の整備状況の管理	特定経路等の整備状況の管理	特定経路等の整備状況の管理	特定経路等の整備状況の管理 新）深谷市交通ＢＦ基本構想策定	
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	
	財源内訳 県支出金	0	0	0	0	0	
	財源内訳 地方債	0	0	0	0	0	
	財源内訳 他特定財源	0	0	0	0	0	
	財源内訳 一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）	0.13	0.09	0.09	0.32	0.32	
	人件費相当試算 ※１	1,011,270	700,380	707,490	2,607,360	2,607,360	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		1,011,270	700,380	707,490	2,607,360	2,607,360	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	今後整備が必要な特定経路の数 特定経路９路線中、８路線は完了	目標値	経路	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		※残る特定経路１路線は、深谷小学校通りで、新庁舎建設に合わせ整備する予定。							
□	活動指標２	バス会社に対しノンステップバスを市内路線へ導入呼びかけ回数	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	□
			実績値		1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
■	成果指標１	特定経路の整備状況（累計値）	目標値	経路	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	□
			実績値		8.00	8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		※道路管理者が整備計画を立てるため設定になじまない。							
		道路管理課より									
■	成果指標２	ノンステップバスの導入状況 民間バス２社、市コミバスの合計	目標値	台	59.00	59.00	59.00	59.00	59.00	59.00	□
			実績値		30.00	30.00	30.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		【深谷駅】国際十王７（６）＋武蔵観光５（０）＋コミュニティバス　４７（２４）							
		ノンステップバスの導入車両									
□	成果指標３	ノンステップバスの導入率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		50.80	50.80	50.80	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 バリアフリー特定経路の整備に関しては、対象９路線中８路線が完成しているが、残り１路線は新庁舎に面していることから、新庁舎建設の進捗に合わせての整備実施となる。ノンステップバスの導入に関しては、民間バス路線にも導入を働きかけているが、車両本体の交換を要すため厳しい状況である。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 民間バスにおいても、一部の車両はノンステップバスに更新されている。更なる導入率の向上を目指し、継続して導入を働きかける。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	交通政策係長　新井　一富

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	深谷駅に乗り入れるバスに関して、今後も継続しノンステップバス化を働きかける。
達成状況 及び その効果	ノンステップバスの導入率は現状維持している。車両のノンステップバスへの移行は車輌本体の更新を行うこととなるため、コスト面からも安易に向上が期待できるものではない。深谷市コミュニティバスにおいてもワンボックスバスが稼働している状況であるが、次期運行ではノンステップバス化を検討したい。引き続き民間企業に対しても車両更新時はノンステップバス化を検討するよう働きかける。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	交通バリアフリー関連事務	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4110

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

バリアフリー特定経路整備の残り１路線（深谷小学校通り線）については、新庁舎建設の進捗を踏まえ、一体的整備かつ適切な整備を目指しこれまで施工を見送ってきた。新庁舎建設も進捗していることから、新庁舎建設と合わせた整備を考案したい。また、ノンステップバスの導入に関しては、利便性向上を図るため、引き続き働きかけを行うこととする。

評価者	都市計画課長　吉田　稔

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

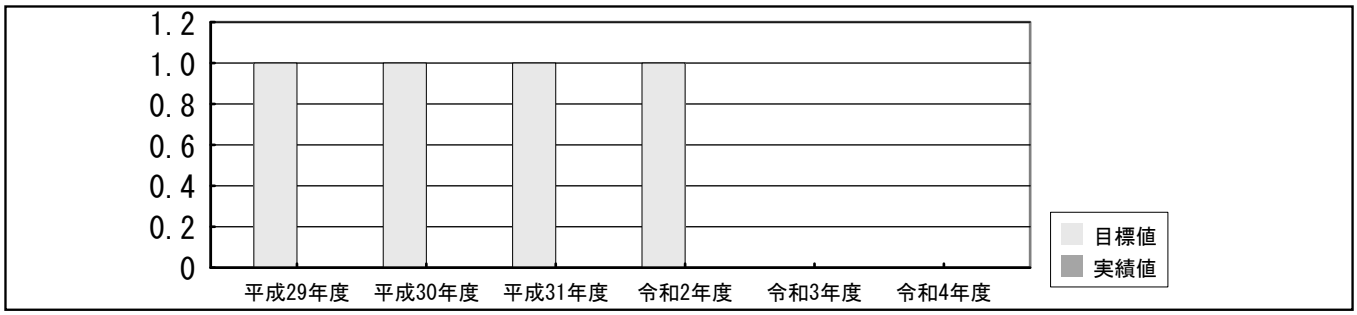
改善・改革案	深谷駅に乗り入れるバスに関して、今後も継続してノンステップバス化を働きかける。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

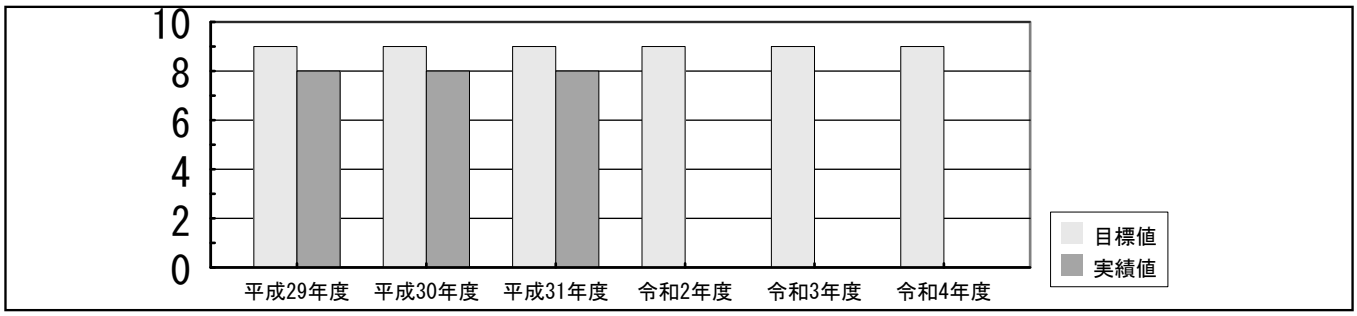
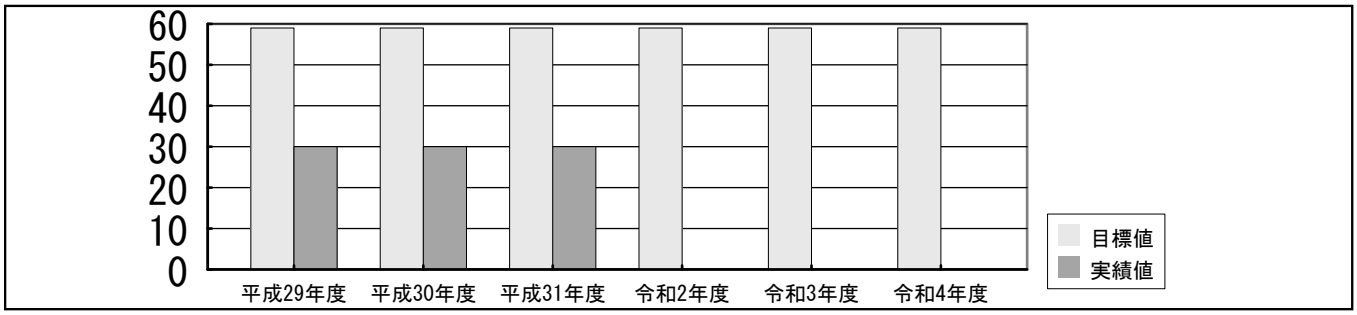
今後の課題	平成１２年に「交通バリアフリー法」が制定され、深谷市も平成１５年３月に「深谷市交通バリアフリー基本構想」を策定した。平成１８年に「バリアフリー新法」が施行された。今般、東京２０２０オリ・パラリンピック大会を契機として、見直しを行った「改正バリアフリー法」が施行された。深谷市もこれまで特定道路の完了をもって次期段階へ進めると考えていたが、現行法に合わせた新交通バリアフリー基本構想の策定に取り組むことを進めたい。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	今後整備が必要な特定経路の数特定経路９路線中、８路線は完了



区分	成果指標１	指標名	特定経路の整備状況（累計値）



区分	成果指標２	指標名	ノンステップバスの導入状況民間バス２社、市コミバスの合計